

いけだデイサービスセンター小島館 平成 28 年度第 1 回運営推進会議開催報告書

開催日時		平成 28 年 10 月 18 日 (火) 18 時～19 時 15 分	
開催場所		いけだデイサービスセンター小島館 (事業所内) ・外)	
サービス区分		地域密着型通所介護事業所	
出席者の状況	委員(職種)	委員数 (6) 名 / 出席 (5) 名	
		A (利用者家族)	B (民生委員)
		C (民生委員)	D (知見を有するもの)
		E (地域包括)	()
		()	()
	職員(役職)	高山 明男 (社協局長)	細沼 洋史 (小島館管理者)
	西澤 ふみ (小島館主任)	()	
議 題		1 介護保険事業について 2 介護保険外事業について	
報告事項		1 利用状況 2 職員の状況 3 介護中アクシデント 等	

会 議 録

1	開会
2	あいさつ 池田町社協高山局長
3	委員の委嘱・自己紹介
4	運営推進会議について 事務局より説明
5	委員長・副委員長の選出 委員長 地域包括 E 委員 副委員長 民生委員 B 委員 事務局案により承認。
6	現状報告
	(1) 運営状況について 事務局より資料に沿って報告
	(2) 介護保険外の事業について 事務局より資料に沿って報告。
7	質疑応答・意見交換等
B 副委員長	：お茶会に参加された方が、報告に来てくれた。また行きたいとの声を頂いている。地区外の方と一人で出掛けることが難しく、出かけることが億劫になっているため、車を出している。落ち着いたら、仲間と声を掛け合い、送迎の協力ができればと考えている。
E 委員長	：デイサービスの送迎は 100%の方が利用されていますか？
事務局・細沼	：9 割ほどです。徒歩や自転車で来所される方もいます。
C 委員	：お茶会は会話も弾み、地区外の方とも交流ができて嬉しいと声が聞かれている。一方「近すぎてちょっと…」との声もある。スタッフの雰囲気良く、縁側もあって寄りやすい。
D 委員	：引きこもっている方や行く場所がない方の居場所になり、地域の中に取り残されずにすむのでは…
C 委員	：近所の方同士が寄り合って、内々でお茶会をしている方もいます。
D 委員	：お茶会で送迎はしていますか？
事務局・細沼	：お茶会での送迎は実施していません。送迎の要望等があり、良い方法を検討しています。

会 議 録	
B 副委員長	：80 歳を超えている方がここまで押し車でくるのはなかなか大変です。怪我をされてもいけないので、協力できればと思っています。
事務局・細沼	：8 月よりお茶会の職員が 1 名体制になり、参加されている方に準備やお茶出し、後片付け等協力して頂いています。
C 委員	：お茶会だけでなく、デイの利用者が増えるといいですね。
事務局・細沼	：昨年度の 1 日平均利用は 7.77 名、今年度は 8.5 名を目標にしており、お陰様で現在は定員いっぱいの利用を頂いています。入院等も少なく、空きがあれば CM・ご家族に声掛けし、また、お休みが前もってわかっている場合は、追加利用希望者に来所頂いています。
E 委員長	：利用者の平均介護度は変化していますか？
事務局・細沼	：変化しています。平均介護度 2.75 で介護度 3 の方が多い時期がありました。現在は資料のとおり 1.93 になっています。
E 委員長	：介護度があがると他施設へ移動される方はいますか？
事務局・細沼	：介護度が上がったことが理由での移行はありません。現在ご利用頂いている介護度 5 の方も、一般浴にて入浴されていますが、設備がないため、安全を最優先にしてお受けしています。
E 委員長	：サービスを終了する方はどんな形が多いですか？看取りは？
事務局・細沼	：一番多いのが、お亡くなりになったり、入院後お亡くなりになる形が多いです。この 1 年程では他施設に移行される方も 3 名程いらっしゃいました。
D 委員	：慣れた場所で慣れた人からの支援が、ご利用者さんにとって安心して幸せですね。
A 委員	：通所させて頂いて大変助かっている。
事務局・細沼	：ご本人がデイサービスで望む活動をするため、新聞紙を頂戴したり、ご家族様からもご協力頂いています。
B 副委員長	：季節行事をやってくれて、利用者さんも喜んでいるでしょう。

会 議 録

事務局・細沼：季節行事はもとより、それぞれの利用者さんが希望する活動を、余暇活動として取り組まれています。今は貼り絵をされたり、タオルたたみをお手伝いしてくださったり、皆さん熱心に活動されています。手先の器用な方が多いです。

C委員：小規模多機能おひさまの家の宿泊はできるのですか？

事務局・高山：おひさまの家と契約している方以外は宿泊できません。

C委員：小島館の利用者で宿泊が必要になったら？

事務局・細沼：以前は自主事業で突発的な宿泊依頼に対応していましたが、年間1～2回程度のため、現在県に申請していません。

A委員：月に2～3回のショートステイの利用は助かっているが、本人ショートステイは嫌がっている。

D委員：ユマニチュードケア…自分らしさを取り戻すケアが施設でもどこでもできると良いですね。

E委員長：ご利用者に対する関わり方が一緒だと、本人安心されロケーションダメージも少なくなりますね。

8 その他

日常の中でお気づきの点がありましたら、お伝え頂きたい。

9 閉会

いけだデイサービスセンター小島館 平成 28 年度第 2 回運営推進会議開催報告書

開催日時	平成 29 年 3 月 17 日（金）18 時～19 時 30 分	
開催場所	いけだデイサービスセンター小島館（事業所内・外）	
サービス区分	地域密着型通所介護事業所	
出席者の状況	委員（職種）	委員数（6）名 / 出席（5）名
		A（利用者家族）
		B（民生委員）
		C（民生委員）
		D（知見を有するもの）
		E（地域包括）
		（ ）
		（ ）
	職員（役職）	高山 明男（社協局長）
		細沼 洋史（小島館管理者）
		西澤 ふみ（小島館主任）
		（ ）
議 題	1 介護保険事業について 2 介護保険外事業について	
報告事項	1 利用状況 2 職員の状況 3 介護中アクシデント 等	

会 議 録

1	開会
2	あいさつ 池田町社協高山局長
3	委員の自己紹介
4	委員長・副委員長の選出 委員長 地域包括 E 委員 副委員長 民生委員 B 委員
5	現状報告
	(1) 運営状況について 事務局より資料に沿って報告
	(2) 介護保険外の事業について 事務局より資料に沿って報告。
6	質疑応答・意見交換等
B 副委員長	：お茶会のボランティア 12 名の当番制は、どのように成り立っていますか。
事務局・細沼	：10 周年のイベントの際に協力を呼び掛けたところ、14 名のボランティアが来てくれ、発掘ができた。ボランティアがボランティアを誘ってくれ、輪が広がっている。当番は、6 月まで組めている。
B 副委員長	：東町で、ゴム体操が小島館の呼びかけがきっかけになり、定着した。来てほしい人が参加に繋がらない、ボランティアの当番制などの課題はあります。
D 委員	：役を引き受け手がいない時代になっている。子どもも少なく、親がでないと行事もできない。小島館と地域の顔の見える間柄は羨ましい。
C 委員	：2 丁目は高齢化率が高く、日中独居や年寄り任せが課題です。
事務局・高山	：高齢者だけでなく、年代層でリーダー的存在やつながり、たての関係ができてくると良いですね。
E 委員長	：県から調査が来て、水害、土砂災害、地震災害時等の対応について地域の皆さんのお力をお借りし、一緒に計画していくことが大事だと思います。
事務局・細沼	：昨年、町の防災訓練の際に、東町へ参加させて頂いた。災害の際には、職員だけ避難することが困難であり、地域の方々に助けをもらいたい。日頃からの関係づくりが大切と感じている。
A 委員	：義母がお世話になっているが、親身にしてもらっており、日中の

会 議 録

様子も教えてもらうことができ、助かっている。

事務局・細沼：きめ細かさを大切に、お手伝いさせて頂きたいと思っています。

7 その他

日常の中でお気づきの点がありましたら、お伝え頂きたい。

8 閉会

いけだデイサービスセンター小島館 平成 29 年度第 1 回運営推進会議開催報告書

開催日時	平成 29 年 10 月 4 日（水） 18 時～19 時 15 分	
開催場所	いけだデイサービスセンター小島館（事業所内・外）	
サービス区分	地域密着型通所介護事業所	
出席者の状況	委員（職種）	委員数（6）名 / 出席（5）名
		A（利用者家族）
		B（民生委員）
		C（民生委員）
		D（知見を有するもの）
		E（地域包括）
		（ ）
		（ ）
	職員（役職）	高山 明男（社協局長）
		細沼 洋史（小島館管理者）
		伴在 優梨亜（小島館生相）
		（ ）
議 題	1 介護保険事業について 2 介護保険外事業について	
報告事項	1 利用状況 2 職員の状況 3 介護中アクシデント 等	

会 議 録

1 開会

2 あいさつ 池田町社協高山局長

3 現状報告

(1) 運営状況について 事務局より資料に沿って報告

(2) 介護保険外の事業について 事務局より資料に沿って報告。

4 質疑応答・意見交換等

E 委員長 : 「こじまつり」に来たとき、どうしてこんなにも子どもがいるの？
と、びっくりした。日常でも、交流はあるのか？

事務局・細沼：小学校1年生の子が小島館のトイレを借りに来て、違う子にも

「トイレも借りれるしお茶も飲めるよー」と、広めてくれる。

利用者さんも、私たちも普段みれない様な、穏やかな顔をみせます。

B 副委員長：「こじまつり」では、子ども達がクイズなど盛り上がっていて、

楽しそうだった。時間差で人が来て、賑やかだった。

お年寄りの方は、グループになって話に夢中になっていた。会話の

輪に入れられない方がいて、下を向いていた。全員で何か一つになって

楽しいことはできないか？10分でも15分でも。

事務局・細沼：昨年の10周年イベントでもはぶれている方がいた。今後は、ボラ

ンティアさんにそういう細かい部分に入ってもらえれば良いかな

？と思っていた。来年は、もう少し考えます。

B 副委員長：何かやってくれと振ってくれても良いよ。

E 委員長 : よく「たかちゃん家」では、小山さんがピアノを弾きながら歌を

みんなで歌っているよね。歌はみなさん喜ぶのでは？

小山さんをお願いしても良いかも。

D 委員 : 重度化していると、入浴が大変？「たかちゃん家」では、利用者

さんを一度受け入れたら、最期まで通っていただくという気持ちで

やっている。慣れた施設を離れなければいけないきっかけは何か？

他の施設で、入浴など色々な設備が整っている所があったが、営

業日が6日から3日に変更になった。理由はわからない。

お風呂は、慣れた施設で慣れた人にやってほしいという願いがある

のではないかな？

C 委員	：私の父もデイサービスセンター高姫に通っていたが、お風呂に入るのが目的だった。家族の中で一番困るのがお風呂。有難い。他の施設で、お風呂が寒いという話を聞いた。寒いのは可哀想。その人好みの温度など、わかってきている慣れたところをお願いしたい。
事務局・細沼	：私たちも、最期まで通っていただきたいという想いでいる。最近、他の施設へ移った方は、入浴が大変になってきた。体格の大きい方で、小島館の職員 2 名で入れることもできるが、ご本人が負担になってきていた。負担に感じながらの入浴より、機械浴の方が負担もなく、ご本人が安心して入浴できると感じた。できることなら、入浴だけ高姫にお連れし、日中は小島館で過ごしていただくなど考えていますが、制度的にそれができるのか検討したい。
E 委員長	：現在は、3名の職員で行っているのか？フロアが2名で入浴介助が1名？
事務局・細沼	：入浴介助を2名、フロアに1名という様に行っていますが、入浴もご自分でできる方や重度の方など、様々な要素を考えながら順番を決めています。また、入浴介助の職員も、フロアを見ながら行っているので、フロアは、1.5人という感じです。
B 副委員長	：目を離せない人は、何人いますか？
事務局・細沼	：目を離しても良い方が3人くらいです。離すと言っても、見守りは必要ですね。
D 委員	：入浴は、午前中ですか？
事務局・細沼	：基本は、午前中に行っています。午後という希望があれば対応しますが、現在は、皆さん午前中に入っています。契約の時に入浴の時間を一応午前中の設定でお話ししていますが、利用者さんの状況や体調などによって対応しています。
D 委員	：今は、色々なサービスや資源があるので、利用者さんが選べるようになってきていますね。
A 委員	：私の義母も小島館にお世話になっています。気が進まなくても「お風呂」に入りたくて行っていた。最近は、手のかかるようになって最期まで、通って欲しいと思っている。

<p>事務局・細沼：そのように言っていただき、とても有り難い。私たちも、和澤さんへ来て頂ける様お手伝いしたいと思っています。</p>
<p>E 委員長：子どもの居場所、子どもカフェの研修へ行っているが、今後のビジョンはどうなっているのか？</p>
<p>事務局・細沼：研修に行った4月当初は、お茶会を開催している土曜日の午前中に、子どもカフェを行おうと考えていた。しかし、ニーズの調査などが進んでいない。地域の職員と連携し、事業所でできることを模索している。</p>
<p>D 委員：小学校のグラウンドにも子どもは見なくなった。児童館もいっぱいどこで遊んでいるのか？生活困窮、学習支援はこれからの課題ですね。</p>
<p>5 その他 小島館で避難訓練をしたいと考えています。行うときは、参加のお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>6 閉会</p>